慢性的な膝の痛みでお悩みの方へ

人工膝関節全置換術

Total　Knee　Arthroplasty　（TKA）

Useful　information　　from　社会医療法人慈薫会　河崎病院

『慢性的な膝の痛み、あきらめていませんか？』

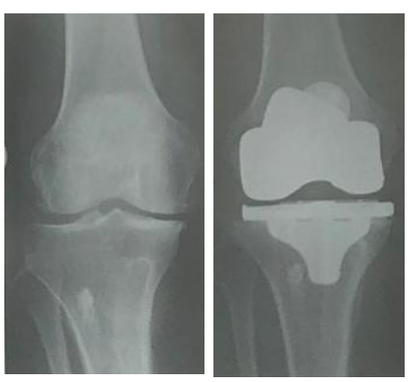
慢性的な膝の痛みの原因の多くは、膝軟骨のすり減りに伴う『変形性膝関節症』です。リウマチや外傷、骨壊死が原因となることもありますが、多くは膝関節の老化により発症します。膝の痛みはあらゆる生活動作に影響を及ぼし、かなり辛い思いを我慢している方も少なくありません。湿布剤の使用や鎮痛剤やサプリメントの服用、サポーターなどあらゆる方法を試しても効果が得られないと感じている方も多いのではないでしょうか。

人工膝関節全置換術（TKA）は、そんな悩みを解決する手術です。年齢が若いほど術後の経過も良く、『早くしたほうが良い手術』の一つです。 以下に具体的な内容をお示し致します。

『どんな手術？』

傷んだ骨の関節面を削り取り、金属製の人工関節部品を固定します。金属の間にはプラスチック製の人工軟骨をはめ込みます。人工関節の金属には合金を使用しており、副作用予防やMRI検査に対応できるよう工夫がされています。

膝が変形に合併して生じるO脚やX脚なども矯正でき、手術後には若い頃のまっすぐな脚を取り戻すことが期待できます。



手術前　　手術後

『治療費は？』

公的医療保険が適応されると共に、高額療養費制度の対象となります。また、現物給付制度を利用すると高額療養費制度の支給分を医療機関での治療費支払い時に清算でき、立替え払いが不要となります。健康保険組合や市町村役場まで問い合わせ下さい。

治療費の具体的なイメージ
（高額療養費制度を使用した場合）

『リハビリテーションを行うことでより高い効果』

・治療の流れ
①整形外科外来診察（適応判断）
②入院（術前評価）
③手術施行
④リハビリ開始（術後翌日より）
⑤1カ月程度の入院治療
⑥退院（術後評価）

・リハビリテーション効果

再構築された膝の可動域を広げながら、その周囲の筋力を強化します。歩行、動作も新しく見直す必要があるので、反対の膝の様子やその他の身体機能を見ながら、その方のベストな動き方を見極め、反復練習します。

在宅生活が無事送れるようになるまでサポートします。退院後、訪問リハビリや通所リハビリも利用可能です。

通称『はぎぃ』こと萩尾佳介です。河崎病院で整形外科医として勤務しております。「動作制限の少ない人工関節」、「合併症のない手術」、「長持ちする人工関節」を目指して治療を行っています。

＜略歴＞
1995年 大阪大学医学部 卒業
2003年 大阪大学大学院 卒業
2016年 アメリカ合衆国（フェニックス） St.Lukes病院
2019年 スペイン（バルセロナ） Dexeus病院
関西の数々の病院で人工関節全置換術の発展に貢献し、
2024年　社会医療法人慈薫会　河崎病院の副院長に就任

萩尾佳介　副院長

Positive case

K. Dさん（変形性膝関節症）

慢性的な膝の痛みにより、歩行が不安定になる。 転倒を繰り返し、立ち上がることも困難となり、手術を決意した。
術後、翌日よりリハビリテーションを開始。その後、安定した歩行が可能となり、自宅に退院した。
『長い間悩んでいた膝の痛みがましになりました。色々な方々の支えもあり、また歩くことができるようになってほっとしています。手術して良かったと思います。また、お出掛けがしたいです。』

術後1週間
支えで立つのがやっと・・・

退院時
支えがなくても一人で歩行が可能に

はぎい 先生への質問

『みなさんが少しでも安心して手術が受けられるよう、よくある質問を紹介します。

Q 怖いとかんじますが、メリットは大きいのでしょうか？

A 一番のメリットは痛みが軽減することです。人工関節というと、サイボーグになるようなイメージをもつ患者さんもいらっしゃいますが（笑）、実際には、歯科治療で例えれば、傷んだ箇所を削って人工物に置き換える虫歯の治療のようなものです。

Q 入院期間はどれくらいですか？

A 経過にもよりますが、概ね1カ月程度を目標にしていることが多いです。不安に感じる方は、2カ月程度リハビリすることもあります。

Q 合併症はありますか？

A 感染や深部静脈血栓などがあります。当院では手術はクリーンルームで行い、抗生剤の投与を行うことで感染を防いでいます。また、手術後長い時間動かさないでいることで血栓ができる恐れがありますから、翌日からリハビリを行い早期離床を行うことで予防しています。

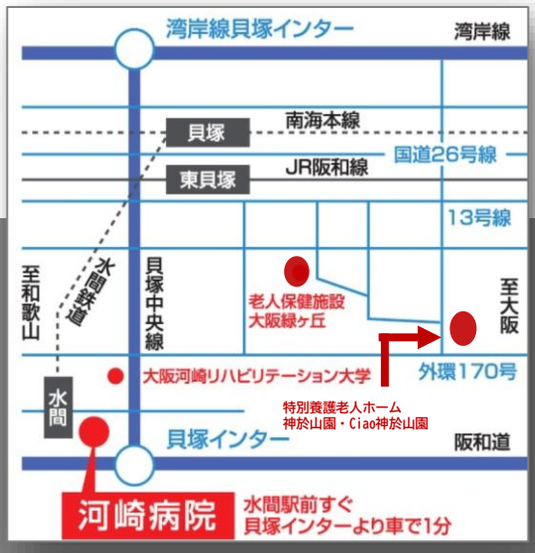
Q 人工関節はどれぐらいもちますか？

A 一般的に15年から20年は大丈夫と言われています。骨の部分の老化のほうが、注意が必要です。

Q 皆さんどのように決断しますか？

A 徐々に症状が悪化するので、何年も手術に踏み切れないでいる方は多いです。ただ、痛みがつらくて、自分らしい生活ができなくなったときが手術のタイミングです。「痛みを和らげて快適に日常生活を送れるようになる人工膝関節置換術という方法がある」とアドバイスすることも医師の努めではないかと思っています。

今回は、手術の紹介をされていただきましたが、いきなり手術になることはまずありません。診察では、薬やリハビリでの保存治療から始め、その経過をもって、手術の適応を判断します。手術をするかどうかについては患者さんの意向に沿って医師としてできるだけ多くの情報提供を行いつつ、最終的には患者さんと家族に決めていただくことになります。



社会医療法人慈薫会
河崎病院
大阪府貝塚市水間２４４番地
TEL：072－446－1105
FAX：072－446－3196
URL http://www.jikunnkai.or.jp/